

平成30年11月12日(月) 13047号



株式会社 日刊金属

本 社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町 3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップルーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)
 EMail info@nikkankinzoku.co.jp
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 72,000円(税別) データ12か月 84,000円(税別)
 6か月 36,000円(税別) 配信料 6か月 42,000円(税別)

10月商品取引高

金標準、金ミニが増加

前年同月比2桁増

東京商品取引所

東京商品取引所 (TOCOM、濱田隆道社長) が発表した2018年10月の1日平均商品取引高で、貴金属は金標準や金ミニの取引が対前年比で増加した。

金標準は3万4,507枚で、前月比10.2%、前年同月比49.8%のそれぞれプラス。金ミニは2,880枚で、前月比では9月に続くマイナスで1.2%減少したものの、前年同月比では19.2%増加した。ゴールドスポットは6,563枚で、前月比3.8%増加。前年同月比では51.9%減と9月に続いた大幅なマイナスとなった。

プラチナ関連は、白金標準が前月比22.8%、前年同月比9.1%それぞれ減少し8,135枚と1万枚割れ。プラチナスポットは952枚で、前月比58.5%、前年同月比89.4%の大幅なマイナス。白金ミニは433枚で、前月からは22.3%減少した一方、前年同月比では36.2%増加した。白金標準とプラチナスポットの取引は、9月に続いて前月比でマイナスだった。

TOCOMは、金相場の10月の動向について、米中貿易摩擦や記者死亡をめぐるサウジアラビア情勢などで株式市場が不安定となる中、リスク回避の投資資金が金市場に流入したと分析。買いが膨らんだ結果、10月24日には7月18日以来の高値となる4,458円まで上昇したと説明した。

18年10月商品取引高

先物取引	1日平均取引高(枚)	前月比(%)
金標準	34,507	10.2
金ミニ	2,880	▲1.2
ゴールドスポット	6,563	3.8
銀	61	▲25.3
白金標準	8,135	▲22.8
白金ミニ	433	▲22.3
プラチナスポット	952	▲58.5
パラジウム	143	7.3
金オプション(コール)	62	▲13.0
金オプション(プット)	62	▲13.7
ドバイ原油	19,506	19.6
バージガソリン	3,806	59.1
バージ灯油	835	26.9
バージ軽油	0	—
バージガソリンスワップ	13	▲16.4
バージ灯油スワップ	12	▲20.3
バージ軽油スワップ	12	▲20.0
ローリーガソリンスワップ	12	▲20.0
ローリー灯油スワップ	12	▲20.0
ローリー軽油スワップ	12	▲20.0
中京ローリーガソリン	127	429.7
中京ローリー灯油	55	414.5
ゴム	5,839	▲19.7
とうもろこし	482	26.0
大豆	14	97.9
小豆	18	▲65.1
合計	86,330	6.0
現物取引		
金(100g)	1	0.0
金(1kg)	0	0.0
合計	1	0.0
先物+現物合計	86,331	6.0

▲はマイナス

減摩合金・各種ハンダ
鉛滓・錫滓の精錬

中川金属精錬所

代表者 中川 譲 治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22

TEL 06-6561-3759(代表)

日立金属

モーターにアモルファス金属採用

高効率化モーター鉄心構造開発

日立金属(日立金属)は、高効率化を実現できるモーター鉄心構造をこのほど開発した。モーターの鉄心(コア)にアモルファス金属「Metglas」を部分的に採用。さらにこの構造を用いて試作したモーターは、97.2%の高い効率を得たとしている。同社は今後、ハイブリッド車等の駆動モーターへの適用を視野に入れた研究開発をさらに進め、実証データとともにモーター用材料の新たな応用を提案する考え。

同社は、モーター鉄心構造の開発に当たり、せん断加工したアモルファス金属を積層し、鉄心のティースと呼ばれる部分のみに適用することで、比較的容易に低損失な鉄心を製造できると考えられる構造を検討、実証した。

日刊金属

外電配信料
(税別)

6カ月：42,000円

12カ月：84,000円

また、アモルファス金属に加え、超高密度ボンド磁石やエナメル線など、日立金属グループが持つモーター用材料を用いて、定格11kWのモーターを試作し、評価した結果、効率ガイドラインの最高水準であるIE5に適合するモーター効率97.2%を得ることが確認できた。試作したモーターは、市場で多く流通しているラジアルギャップ型モーターであるため、現行の製造技術で生産できる固定子コイル構造を採用することが可能になった。

自動車関連市場をはじめ、産業インフラ関連、エレク



試作モーターの外観

トロニクス関連の各市場では、モーターの小型・軽量化や高効率化へのニーズが高まっている。モーターの高効率化の手段として、電磁鋼板に比べて鉄損(コアロス)が1/10以下と低いアモルファス金属を鉄心に用いる方法があるものの、アモルファス金属は電磁鋼板に比べて、加工難度が高く、複雑な形状に加工するには生産性に課題があった。これに対し、日立金属は、量産化と実用性、高効率化を同時に実現できるモーター鉄心構造の研究に取り組み、今回開発に成功した。

2019年3月期第2四半期連結決算

大阪チタニウムテクノロジーズ

大阪チタニウムテクノロジーズの19年3月期第2四半期の単体決算は、売上高が前年同期比7.9%増、営業利益は95.9%のほぼ倍増だった。チタン事業では、輸出向け航空機の製造が堅調。国内向けでは、一般産業用途のプレート式熱交換器の需要回復が寄与した。

一方、大阪北部地震の影響を特別損失に計上した。

(単位：億円)	
売上高	195.56
	7.9
営業利益	8.17
	95.9
経常利益	13.05
	215.5
四半期純利益	3.62
	50.4

下段は前年同期比(%)

2019年3月期第2四半期連結決算

東邦チタニウム

東邦チタニウムの19年3月期第2四半期の連結決算は、売上高が前年同期比13.3%増、各利益項目は2桁の増益だった。主力の金属チタン事業は、最終需要先の航空機生産が堅調、スポンジチタンの拡販に努めた結果、同事業の売上高は17.3%増、営業利益は81.5%の大幅増益となった。

(単位：億円)	
売上高	201.84
	13.3
営業利益	25.39
	31.7
経常利益	28.04
	49.9
四半期純利益	22.97
	75.1

下段は前年同期比(%)

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



10月のアルミ概況及び11月の見通し (1)

予測レンジ

LME	現物後場買い	1,900-2,100ドル	●
スクラップ	-5~0円 (前月最終価格より)		●
為替	111-114円(1か月間TTM)		●

■国際概況

前半は、ノルスクハイドロのブラジルアルノルテアルミナ精製所の閉鎖が報じられるとの報やアジア株の回復などのプラス材料もあったが、アルノルテ精錬所が生産能力の50%で稼働を再開することを表明したこと、ロシアのルサルへの米国制裁の行方不透明感を引き続けている、などを嫌気しDOWN。

10月15日時点で2,045ドル(セツル)と月初価格から2.5ドルDOWNの前半締めとなった。

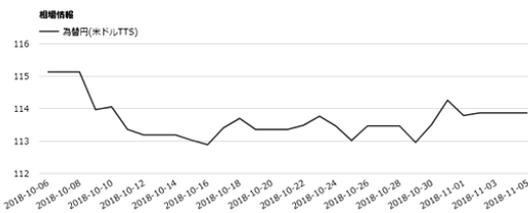
後半は中国当局が、経済成長や流動性の支援に向けた措置を講じる方針を示したこと、中国の自動車購入税半減提案をするなどのプラス材料もあったが、9月の米新築住宅販売が事前予想を大幅に下回ったこと、トランプ政権が12月初めまでに中国からの残りの全輸入品に追加関税を発動する方針と報じられたことを嫌気しDOWN。

11月3日現在、後半スタート価格から61ドルDOWNの1,967ドル。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート (TTT)

114.92→113.51 (円)



◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると8月の自動車生産台数は前年比-0.3%の69万3,977台であった。

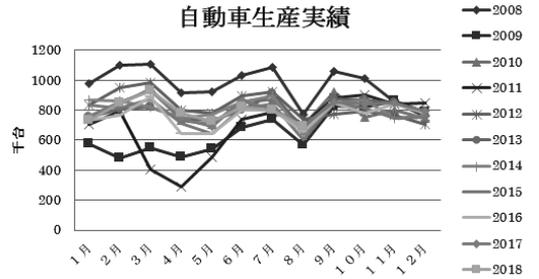
	6月	7月	8月
生産台数	82万22723台	80万17782台	69万3997台
前年比	-4.4%	-2%	-0.3%

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると10月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+13%の26万1,554台。

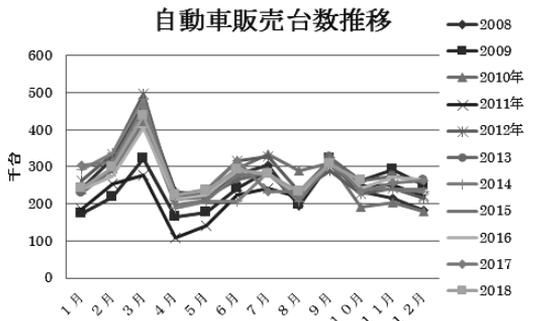
	8月	9月	10月
販売台数	23万3358台	30万8324台	26万1554台
前年比	-0.2%	-3.1%	+13%

自動車生産台数



出典 日本自動車工業会

自動車販売台数推移

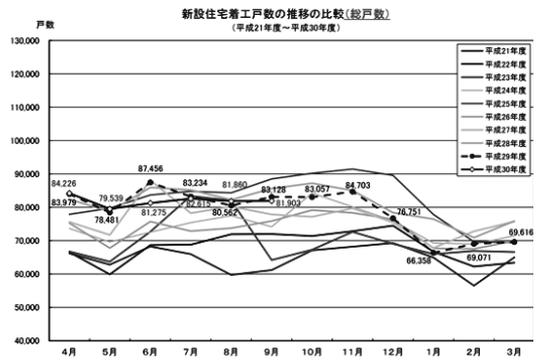


出典 日本自動車販売協会連合会

新設住宅着工件数推移

平成30年9月の住宅着工戸数は8,1903戸で、前年同月比で1.5%減となった。また、季節調整季年率換算値では94.3万戸(前月比1.6%減)となった。

	7月	8月	9月
新設住宅着工数	8万2615戸	8万18609戸	8万1903戸
前年比	-0.7%	+1.6%	-1.5%



出典 国土交通省統計



亜鉛建値6,000円引き上げ34万3,000円 11月の月内建値平均は34万1,300円

三井金属鉱業は9日、電気亜鉛建値を6,000円引き上げ34万3,000円と発表し、同日から実施した。2018年11月の月内建値平均は34万1,300円。

9日入電のLME亜鉛相場のセツルメントは2,521.50ドル、同日の東京外国為替市場の米ドルTTSレートは115.03円、この値で換算した採算価格は29万0,000円。建値と採算価格から見た諸掛りは5万3,000円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(単位キロ当たり円、カッコ内は改定日)。

2018年

□6月	385(1)403(6)406(13)391(19)355(26)	平均389.0
□7月	370(2)352(5)340(11)328(17)340(20)343(25)	平均345.6
□8月	349(1)340(7)298(16)307(21)334(27)	平均328.5
□9月	325(3)316(10)298(18)343(25)	平均320.5
□10月	352(1)358(4)346(12)355(23)352(26)	平均351.9
□11月	337(1)343(9)	平均341.3

故銅市況

9日入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場の直物前場売値が、前日の6,210.00ドルより73.00ドル安の6,137.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,171.50ドルより8.00ドル安の6,163.50ドル。カーブ取引は前日の6,152.50ドル～6,153.00ドルより1.50ドル～2.00ドル高の6,154.00ドル～6,155.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場(11月限)は、前日の275.25セントより1.55セント安の273.70セント。SHFE(上海先物取引所)の銅相場(11月限)は、前日の4万9,460元より40元高の4万9,500元。

9日の東京為替市場TTSレートは、前日の114.63円より0.40円の円安ドル高の1ドル=115.03円。NYカーブLME先物比は0.50ドル安。9日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,137.00ドル。この値と9日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の75万1,000円より6,000円安の74万5,000円。この日、電気銅建値は74万円に据え置かれた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が611～616、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは592～597、並銅は531～536、込銅(高品位=約97%)は491、セパは535～540。コーペルは要り用筋で466、それ以外は458ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋421、それ以外404～429どころの値頃。並青銅鋳物削粉は461～466どころ。

小口市の中相場(1トン前後)では、ピカ線が594～599、上銅新くずが581～601、普通上銅が548～558、2号銅線が554～564、並銅が519～520、込銅(90-93%)が478～445、下銅が280～330、セパが502～512、コーペルが458～498、黄銅棒地が454～459、黄銅削粉が362～409、黄銅ラジが399～407、交叉ラジが335～346、黄銅鋳物が370～377、送りが189～204、上青銅鋳物が471～487、並青銅鋳物が463～476、上青銅鋳物削粉が468～487、並青銅鋳物削粉が461～465どころ。

為替動向

9日午前の東京外国為替市場で、円相場は1ドル=114円台に下落した。午前9時時点の気配値は、1ドル=113.95円～113.98円、前日17時時点比0.26円の円安・ドル高。

8日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は1ドル=113.70円～113.80円、前日の同時刻比0.40円の円安・ドル高だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.56円の円安・ドル高、1ドル=114.01円～114.11円で取引を終了した。

米連邦公開市場委員会(FOMC)が声明を発表し、今後の利上げ継続方針を示唆した。ニューヨーク市場では、次回12月の会合で連邦準備制度理事会(FRB)が今年4回目の金利引き上げを行うとの観測が強まったことから、円売り・ドル買いが進んだ。米長期金利の上昇で、日米金利差の拡大を見越したドル買いも誘った。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、113.61円～114.09円だった。

東京市場でも、米長期金利の上昇を材料とした円売り・ドル買いが先行した。FRBが次回のFOMCで追加利上げを行うとの見方がドルの支援材料となった。午前の取引で、円相場は114円台に乗せた後、円が買い戻される場面もあった。

亜鉛くず 現金高価買受け
亜鉛ドロス・滓 ご照会乞う

再生亜鉛精錬

日進産業株式会社

代表取締役 星山えり

〒580-0006 松原市大堀1丁目7-30

TEL 0723-31-3945代表

FAX 0723-31-3974



LME銅は反落 ドル高と中国の輸入減少を嫌気
カーブ取引は小幅で反発 COMEX銅相場は反落 SHFE銅相場は小反発
LME非鉄相場はまちまち 午後は総じてやや好転
鉛は4営業部ぶり反発 錫現物も4営業日ぶり反発

9日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,209.00ドルより73.00ドル安の6,136.00ドル。3か月物も、前日の6,193.50ドルより78.00ドル安の6,115.50ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の17万4,000トンより約2,000トン減のおよそ17万2,000トン。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（11月限）は、前日の275.25セントより1.55セント安の273.70セント。カーブ取引は、前日の6,152.50ドル～6,153.00ドルより1.50ドル～2.00ドル高の6,154.00ドル～6,155.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（11月限）は、前日の4万9,460元より40元高の4万9,500元。

錫は反発

LME錫相場の直物は、前日の1万9,037.50ドルより160.00ドル高の1万9,197.50ドル。3か月物も、前日の1万9,015.00ドルより140.00ドル高の1万9,155.00ドル。

鉛も反発

LME鉛相場の直物は、前日の1,898.00ドルより48.50ドル高の1,946.50ドル。3か月物も、前日の1,921.75ドルより47.25ドル高の1,969.00ドル。

亜鉛は続落

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,521.50ドルより0.25ドル安の2,521.25ドル。3か月物も、前日の2,478.75ドルより9.25ドル安の2,469.50ドル。

アルミは上伸 アルミ合金は反発 北米特殊アルミ合金は続伸

LMEアルミ相場の直物は、前日の1,951.00ドルより25.00ドル高の1,976.00ドル。3か月物も、前日の1,962.50ドルより19.00ドル高の1,981.50ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,335.00ドルより95.00ドル高の1,430.00ドル。3か月物も、前日の1,365.00ドルより15.00ドル高の1,380.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,370.00ドルより5.00ドル高の1,375.00ドル。3か月物も、前日の1,370.00ドルより5.00ドル高の1,375.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ105万4,000トンより約1,000トン増のおよそ105万5,000トン。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の直物は、前日の11,665.00ドルより52.50ドル安の11,612.50ドル。3か月物も、前日の11,732.50ドルより40.00ドル安の11,692.50ドル。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(11月前半)

2S=194円～202円、63S=191円～195円、アルミホイール(1P)=186円～191円、ビス付サッシ=140円～144円、エンジンコロ=146円～148円、込合金(機械鋳物)=142円～144円、缶プレス(ソフト)=109円～123円。

関西地区(11月前半)

2S=189円～197円、63S=187円～191円、52S=199円～203円、印刷版=192円～197円、アルミホイール(1P)=175円～180円、ベースメタル=199円～204円、機械鋳物=146円～151円、ダライ粉=118円～120円、ビス付サッシ=141円～146円、缶プレス=124円～129円。

LME公式値（単位：ドル）／11月8日（現地）

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,136.00	19,197.50	1,946.50	2,521.25	1,976.00	1,430.00	1,375.00	11,612.50
	前営業日比	▲ 73.00	160.00	48.50	▲ 0.25	25.00	95.00	5.00	▲ 52.50
先物	公式値	6,115.50	19,155.00	1,969.00	2,469.50	1,981.50	1,380.00	1,375.00	11,692.50
	前営業日比	▲ 78.00	140.00	47.25	▲ 9.25	19.00	15.00	5.00	▲ 40.00

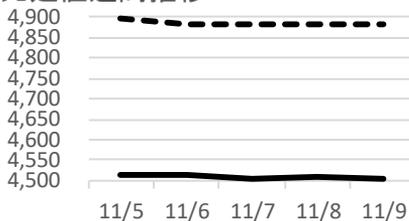


金銀山元建値週間推移

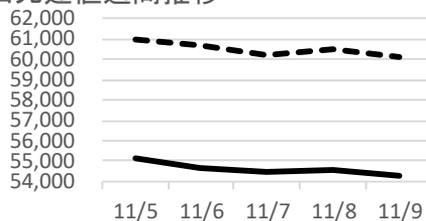
11月5日～11月9日

10月平均	建 値	小 売
金(¥/g)	4,433.05	4,802.77
銀(¥/kg)	54,310	60,126

金山元建値週間推移



銀山元建値週間推移



	11/5	11/6	11/7	11/8	11/9
金小売	4,897	4,885	4,883	4,881	4,884
金建値	4,515	4,512	4,504	4,507	4,502

	11/5	11/6	11/7	11/8	11/9
銀小売	61,020	60,690	60,260	60,480	60,150
銀建値	55,100	54,690	54,470	54,560	54,270

海外非鉄金属相場

(11月9日 入電・現地 11月8日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with 4 columns: 前買, 場売, 後買, 場売

Table for 銅 A G with columns: 現物, 前日比, 先物, 出来高

Table for 錫 H G with columns: 現物, 前日比, 先物, 出来高

Table for 鉛 with columns: 現物, 前日比, 先物, 出来高

Table for 亜鉛 S H G with columns: 現物, 前日比, 先物, 出来高

Table for アルミ H G with columns: 現物, 前日比, 先物, 出来高

Table for アルミ合金 with columns: 現物, 前日比, 先物, 出来高

Table for 北米特殊アルミ合金 with columns: 現物, 前日比, 出来高

Table for ニッケル with columns: 現物, 前日比, 先物, 出来高

Table for NY コメックス相場 with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム

Table for 採算価格 with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海

Table for フリー・マーケット with columns: 銅(セント/ポンド), 銀(セント/オンス)H H社

Table for NY相場 with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド)

Table for ロンドン相場 (ドル) with columns: 金(オンス), アンチモン99.6%(トン), ビスマス99.99%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.97%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(MTU単位), タンタル鉱石30-35%(ポンド)

Table for K L T M 錫 (Mドル/キロ, 出来高トン) with columns: 相場, 出来高, ドル建て価格, O Dレート, M \$ / U S \$ レート, 採算円/キロ, U S \$ 採算円/キロ

Table for L M E 在庫 (トン) with columns: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊 A L 合金, ニッケル

Table for コメックス銅在庫 (トン) and 上海在庫 (トン) with columns: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛

Table for NYカーブ with columns: 銅, アルミ

Table for 上海相場 with columns: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛

Table for 採算価格 with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海

非鉄金属製品相場

(11月9日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京		
銅小板2.0ミリ	970	1000	亜鉛板0.3×3×7	620	620		
建築用0.3ミリ	980	1010	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800		
銅大板2×1×2	1140	1200	給水管13ミリ	310	310		
銅管(ベース)	1180	1190	鉛板1.5ミリ	340	340		
水道用管(m当たり)13ミリ	840	880	鉛線3ミリ	465	475		
銅棒25ミリ	940	1000	軽圧品(仲値)	大阪	東京		
銅条1.5×100	950	1000	アルミ箔0.007ミリ	945	935		
銅線0.9ミリ	1030	1060	〃 小板1ミリ	520	510		
銅帯6×50	950	1000	〃 大板1ミリ	510	500		
銅平角線	1230	1240	〃 5052板	650	550		
黄銅小板2.0ミリ	810	830	〃 5083板	665	565		
〃 0.3ミリ	835	850	〃 2017板	1035	925		
黄銅大板2×1×2	990	1040	〃 線3ミリ	645	560		
黄銅管	1385	1340	〃 快削棒25ミリ	785	780		
復水器用黄銅管	1335	1360	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760		
黄銅棒快削25ミリ	660	700	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720		
六角棒	690	730					
四角棒	720	760	貴金属(一般小口向け)				
鍛造用	700	740	白金(グラム)	◆	3508		
ネーバル	800	840	パラジウム(グラム)	◆	4536		
高力	800	840	金(グラム)	◎	4884	合金鉄	9月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1060	1110	銀(キログラム)	◆	60150	フェロマンガン2%以上炭素含有	135
黄銅平角線ロール仕上	1250	1315				〃 その他	271.5
黄銅条1.5×100	805	855	レアメタル輸入価格	9月通関 (CIF)		フェロシリコン55%以上	170
リン青銅板一般用1.0ミリ	1860	1840	金属ケイ素(99.99%未満)		236	フェロクロム4%以上炭素含有	153.9
〃 バネ用0.3ミリ	2080	2050	モリブデン酸化物		2218	フェロモリブデン純分60%以上	2028
リン青銅棒25ミリ	2130	2140	タンタル		52046	フェロバナジウム	6649
リン青銅線3ミリ	2280	2260	マグネシウム		283	フェロニッケル33%未満	427.4
洋白板一般用1.0ミリ	2690	2670	コバルト		9670		
〃 バネ用1.0ミリ	2880	2860	インジウム		30619	電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
減摩合金	11月1日改定		銅合金地金	11月1日発表			
(500kg以上、大口価格)			(標準価格)	大阪	東京		
1種	2680		BC 1種	800	—		
2種	2610		2種	975	—		
3種	2540		3種	1020	—		
4種	2240		6種	855	—		
5種	2160		7種	890	—		
7種	895		YBSC 3種	705	—		
8種	810		LBC 3種	985	—		
9種	720		PBC 2種	1040	—		

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(11月9日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		37,000 ~ 41,000(1)	
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値
1号銅線	651	648	電気銅	◎ 713	◎ 708	◎ 715	◎ 710	金	4502(9)
2号銅線	591	—	電気亜鉛	◎ 326	◎ 321	◎ 326	◎ 321	銀	54,270(9)
上銅(新切)	623	622	蒸留亜鉛	◎ 314	◎ 309	◎ 314	◎ 309	電気亜鉛	343(9)
雑ナゲット	559	561	ダイカスト亜鉛2種	◎ 271	◎ 265	◎ 271	◎ 265	錫(99.99%)	3,600(1)
並銅	568	566	再生亜鉛(98%)	◎ 236	◎ 231	◎ 236	◎ 231		
下銅	536	537	電気鉛	264	259	264	259		
銅削粉	539	541	再生鉛1号	247	240	247	240		
銅さい(30%)	25	25	再生鉛3号	250	245	250	245		
新切黄銅セバ	480	486	錫1号	2350	2300	2350	2300		
コーベル	458	458	アンチモン	1150	1100	1150	1100		
黄銅棒地	448	450	ニッケル(メッキ用)	1550	1500	1550	1500		
黄銅削粉	445	446	コバルト	9500	9200	9500	9200		
並黄銅	431	427	セレニウム	4400	4200	4400	4200		
黄銅ラジエター	331	329	ビスマス	◆ 1300	◆ 1200	◆ 1300	◆ 1200		
交叉ラジエター	375	360	カドミウム	500	450	500	450		
黄銅鑄物	432	—	水銀	1800	1700	1800	1700		
山送り(55%)	218	—	アルミ地金99.70%	◎ 262	◎ 258	◎ 264	◎ 260		
上青銅鑄物	513	—	アルミ二次地金99%	205	200	205	200		
並青銅鑄物	502	508	〃 90%	195	190	195	190		
上青銅鑄物削粉	507	504	アルミ二次合金ADC12	314	309	317	312		
並青銅鑄物削粉	494	494	鑄物用C2BS	339	334	341	336		
新切リン青銅(伸銅)	—	658	青銅合金地金3種	955	945	1025	1015		
〃 (鑄物)	633	—	〃 6種	825	815	840	830		
リン青銅削粉	534	528	ハンダ錫60%	1845	1805	1870	1840		
新切洋白(電子材)	548	540	〃 50%	1630	1580	1655	1625		
新切亜鉛	◎ 139	◎ 139	〃 40%	1470	1410	1430	1400		
ダイカストくず	◎ 117	◎ 117	減摩合金2種	2595	2565	2600	2570		
亜鉛ドロス	◎ 115	◎ 105	〃 4種	2225	2200	2230	2200		
上鉛	94	92	〃 7種	865	815	865	815		
電池巢鉛ケース込	37	34	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		40	45		
活字鉛	89	86		〃 ダライ粉		25	30		
新切アルミ1級	158	161		13クローム 新切		18	18		
新切サッシ1級	159	160		ハイス 9種		130	130		
新切合金1級	149	150		〃 ダライ粉		—	—		
機械鑄物1級	114	114							
ビス付サッシP	100	103							
合金削粉P	83	86							
込ガラP	81	83							
カン・バラ	71	78							